

鳥類学術誌目次

以下の目次は、主として文献の検索が容易にできないアマチュアの研究者に国内外で刊行されている日本の鳥類についての論文を紹介することを目的に、毎年編集していく予定である。

我孫子市鳥の博物館調査研究報告

問い合わせ先: 我孫子市鳥の博物館. 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山234-3

- 箕輪義隆・三沢博志・鈴木明・奴賀俊光・米持千里・小林大光・田中忠義. 2005. 印旛沼鳥類目録. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 13: 1-48.
- 和仁道大. 2005. 千葉市千城台野鳥観察園の鳥類 2003年1月-2004年7月. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 13: 49-76.
- 三沢博志・桑原和之・小川和子・奴賀俊光・綾富美子・泉宏子・本間征・高島齊二・箕輪義隆. 2005. 一宮川河口干潟およびその周辺の鳥類目録. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 13: 77-136.
- 渡辺朝一. 2005. 冬期におけるタゲリの採食行動. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 13: 137-142.
- 時田賢一・桑原和之. 2005. タマシギ *Rostratula benghalensis* の晩秋の営巣記録. 我孫子市鳥の博物館調査研究報告 13: 143-145.

Accipiter 日本野鳥の会栃木県支部研究報告

問い合わせ先: 〒320-0038 宇都宮市塙田2-5-1 共生ビル2F 日本野鳥の会栃木県支部

- 樋口弘. 2005. 宇都宮市街地における長期モニタリングによる鳥類の出現率の変化. *Accipiter* 11: 1-13.
- 小島幸彦. 2005. 栃木県日光市におけるサシバ *Butastur indicus* の分布. *Accipiter* 11: 15-22.
- 平野敏明. 2005. 宇都宮市繁華街における鳥類相の変化. *Accipiter* 11: 23-30.
- 深井宣男・吉田邦雄・山口泰弘・人見潤・坂口斉・木村裕一・市川洋子. 2005. 渡良瀬遊水地における標識調査報告(2004). *Accipiter* 11: 31-37.
- 河地辰彦. 2005. セイヨウミツバチの造巣行動によるチョウゲンボウの繁殖失敗事例. *Accipiter* 11: 39-43.

Binos 日本野鳥の会神奈川支部研究年報

問い合わせ先: 〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川1-1-4 日本野鳥の会神奈川支部

- 戸井田伸一・加藤ななえ. 2005. 神奈川県におけるカワウのねぐらについて. *Binos* 12: 1-6.
- こまたん. 2005. 京都御苑のアオバトー2004年秋~2005年春ー. *Binos* 12: 7-36.
- 瀬口雄一. 2005. 多様度指数を用いた鳥類種構成の解析ー定線センサス調査・データ検討(第2報)ー. *Binos* 12: 37-44.
- 宇佐見閑・瀬口雄一. 2005. 重複度指数を用いたデータ検討ー神奈川県下の定線センサス調査結果を用いてー. *Binos* 12: 45-54.
- 菊池博. 2005. 馬入橋(神奈川県平塚市)におけるハクセキレイの標識調査(2003-2004年). *Binos* 12: 55-60.

- 内田英樹・天羽眞吾. 2005. 神奈川県におけるメジロガモの初観察記録. *Binos* 12: 61-62.
- 藤井幹. 2005. 神奈川県におけるシマセンニュウの記録. *Binos* 12: 63-66.
- 神戸宇孝. 2005. 城ヶ島で観察された白色部分の多いウミスズメ類について. *Binos* 12: 67-70.
- 田村俊幸. 2005. 酒匂川上流中津川で観察されたアオシギ. *Binos* 12: 71-72
- 藤井幹. 2005. カワラヒワの電信柱への営巣記録. *Binos* 12: 73-76
- 日本野鳥の会神奈川支部. 2005. 神奈川県における定線センサスの結果—1999～2003年のまとめ—. *Binos* 12: 77-110
- 日本野鳥の会神奈川支部. 2005. 神奈川県におけるカワウの分布状況(第6報). *Binos* 12: 111-116
- 日本野鳥の会神奈川支部. 2005. 神奈川県におけるサギコロニーの分布状況(第1報). *Binos* 12:117-120
- 2004年の神奈川支部行事 121-123p
- 2004年の保護研究部の活動 124

Bird Research

問い合わせ先: NPO法人バードリサーチ. 〒191-0032 東京都日野市三沢1-26-9 森美荘Ⅱ-202

- 植田睦之・松野葉月・黒沢令子. 2005. 東京におけるヒバリの急激な減少とその原因. *Bird Research* A1-A8
- 峯岸典雄. 2005. 巣箱の設置数のスズメとシジュウカラ類の営巣数への影響. *Bird Research* A9-A14
- 平野敏明. 2005. チュウヒの採食環境としての人工浮島の効果. *Bird Research* A15-A23
- 平野敏明. 2005. 宇都宮市におけるセキレイ類 3種の生息分布と生息環境の変化. *Bird Research* A25-A32
- 田尻(山本)浩伸・竹田伸一・上橋修・森川博一・大河原恭祐. 2005. トモエガモの採食行動と食物選好性実験. *Bird Research* A33-A41
- 峯岸典雄. 2005. シジュウカラ類とスズメの巣の構造の経年変化. *Bird Research* S1-S4
- 峯岸典雄. 2005. カラス類による巣箱破壊の経年変化. *Bird Research* S5-S8
- 松田道生. 2005. 六義園におけるハシブトガラスの死体の数・2002年. *Bird Research* S9-S13

日本鳥学会誌(和文誌)・Ornithological Science(英文誌)

問い合わせ先: 日本鳥学会. 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1
 東京大学大学院 農学生命科学研究科 生物多様性科学研究室 気付

日本鳥学会誌54巻第1号

- 江口和洋. 2005. 鳥類における協同繁殖様式の多様性. *日鳥学誌* 54: 1-22.
- 佐藤重穂・酒井敦. 2005. 針葉樹人工林におけるアカメガシワの種子散布者としての鳥類. *日鳥学誌* 54: 23-28.
- 平野敏明・小池勲・塚原千明. 渡良瀬遊水地におけるチュウヒとハイイロチュウヒの冬期の食性. *日鳥学誌* 54: 29-36.
- 松岡茂. 2005. 鳥声録音データの特徴と種数の数え上げ—単位録音時間と累積種数増加率の関係—. *日鳥学誌* 54: 37-44.
- 馬場智子. 2005. 香川県高松市屋島におけるミサゴの食性. *日鳥学誌* 54: 45-48
- 矢野晴隆・上田恵介. 2005. リウキュウアカショウビンによる発泡スチロール製人工営巣木の利用. *日*

鳥学誌 54: 49-52.

大関義明・楠窪のり子. 2005. 千葉県銚子市, 茨城県波崎町におけるチャガシラカモメ *Larus brunicephalus*. 日鳥学誌 54: 53-55.

千葉一彦・村田野人・作山宗樹. 2005. 岩手県釜石市におけるオオセッカ *Locustella pryeri* の捕獲記録. 日鳥学誌 54: 56-57.

堀江明香・松井晋・高木昌興. 2005. 南大東島における亜種ダイウメジロの11月の育雛. 日鳥学誌 58: 58-59

日本鳥学会誌54巻第2号

由井正敏・関山房兵・根本理・小原徳彦・田村剛・青山一郎・荒木田直也. 2005. 北上高地におけるイヌワシ *Aquila chrysaetos* 個体群の繁殖成功率低下と植生変化の関係. 日鳥学誌 54: 67-78.

渡辺朝一. 2005. 春期の農耕地で見られたツルシギの採食行動. 日鳥学誌 54: 79-86.

安田雅俊・川路則友・福井晶子・金井裕. 2005. ファイ係数であきらかになった20世紀後半の日本の鳥類群集の変化傾向. 日鳥学誌 54: 86-101.

香川裕之・宮川圭司・笹森聡・飛鳥和弘. 2005. 青森県におけるアカアシチョウゲンボウの記録. 日鳥学誌 54: 102-103.

宮彰男・三戸貞夫・蛭名純一・関下斉. 2005. 仏沼干拓地で繁殖期に観察されたシマクイナについて. 日鳥学誌 54: 104-107.

中野晃生・平山知男. 2005. 伊豆諸島三宅島で観察されたセイタカシギ. 日鳥学誌 54: 108-109.

Ornithological Science 4(1)

高須夫悟・中村浩志. 2005. 托卵鳥と宿主の相互関係. *Ornithol Sci* 4(1): 1-2

Csaba Moskat. 2005. ヨーロッパにおけるカッコウの托卵-行動の適応と軍拡競争及びメタ個体群の役割-. *Ornithol Sci* 4(1): 3-16.

Bard Stokke., Arne, Moksnet. & Eivin Roskaft. 2005. 不完全な適応の謎-なぜ宿主は托卵鳥を受け入れるのか? *Ornithol Sci* 4(1): 17-30.

中村浩志・宮沢良友・柏木健一. 2005. 繁殖期における発信機装着カッコウ雌の行動. *Ornithol Sci* 4(1): 31-42.

安藤大介・中村浩志・大森慎也・樋口広芳. 2005. ビデオ撮影によるカッコウのオナガへの托卵行動. *Ornithol Sci* 4(1): 43-48.

田中啓太・上田恵介. 鳥における寄生雛の信号搾取-操作信号に関する新たな分類-. *Ornithol Sci* 4(1): 49-54.

Rebecca, Kilner. 2005. 托卵における病毒性の進化. *Ornithol Sci* 4(1): 55-64

高須夫悟. 2005. 托卵鳥の宿主と共進化に関する理論的考察. *Ornithol Sci* 4(1): 65-72.

川上和人・藤田祐樹. 2005. 八重山諸島, 宮古諸島におけるズグロミゾゴイの分布. *Ornithol Sci* 4(1): 73-80.

Aluri, Raju., Srungavarapu, Rao. & Kone, Rangaiah. 2005. インドの東ガーツ山脈の森林において乾期に開花し絶対的な他家受粉樹種である *Bombax ceiba* L. (Bombacaceae) のコウモリと鳥による花粉媒介. *Ornithol Sci* 4(1): 81-88.

日野輝明. 2005. 鳥の冬期混群において小型種の定住オスは大型種の侵入よりも優位である. *Ornithol Sci* 4(1): 89-94.

藤田剛・樋口広芳. 2005. 繁殖期のツバメに見られる大スケールでの集中ターン. *Ornithol Sci* 4(1): 95-99.

Ornithological Science 4(2)

Aluri, Raju. 2005. インドの東ガーツ山脈において低木の普通種である *Woodfordia floribunda* Salisb.

- (Lythraceae)のスズメ目鳥類による花粉媒介と種子分散. *Ornithol Sci* 4(2): 103-108.
- 樋口広芳・Hau-jie, Shiu.・中村浩志・植松晃岳・久野公啓・佐伯元子・堀田昌伸・時田賢一・守屋恵美子・森下英美子・田村正行. 2005. ハチクマの渡り衛星追跡. *Ornithol Sci* 4(2): 109-116.
- 関伸一. 2005. 台風(9918 Bart)による照葉樹林の鳥類群集への影響. *Ornithol Sci* 4(2): 117-128.
- Ilan, Paperna.・Malcom, Soh.・Charlotte, Yap.・Navjot, Sodhi.・Susan, Lim.・Dewi, Prawiradilaga.・永田尚志. 東南アジアの熱帯林鳥類群集における血液寄生虫の多様性と感染率. *Ornithol Sci* 4(2): 129-138.
- 奴賀俊光・Christopher, Norman.・桑原和之・宮崎龍雄. 2005. 九十九里浜におけるミユビシギ *Calidris alba* の採食行動と分布に対する餌量の影響. *Ornithol Sci* 4(2): 139-146.
- 濱尾章二. 2005. コヨシギリ *Acrocephalus bistrigiceps* における巣場所の特性と捕食リスクの関係-特に植物の頑丈さについて-. *Ornithol Sci* 4(2): 147-154.
- 嶋田哲郎・島山正治・宮林泰彦・呉地正行. 2005. 気象条件がマガンの越冬分布の北上に与えた影響. *Ornithol Sci* 4(2): 155-160.
- Johanna, Pierre., Shelly, Boss.& Cynthia, Paszkowski. 2005. 森林伐採がヒメハジロとハシグロアビの採食行動に及ぼす影響. *Ornithol Sci* 4(2): 161-168.
- 千葉晃・小野島学・木下徹. 2005. ペリット分析に基づいた新潟市郊外におけるトラフズクの餌動物. *Ornithol Sci* 4(2): 169-172.
- 川上和人・内田博・藤田祐樹. 2005. 日本におけるミゾゴイの食物. *Ornithol Sci* 4(2): 173-178.
- 森さやか. 2005. 分断化された環境でアカゲラ(*Dendrocopos major*)が利用する採餌ハビタット. *Ornithol Sci* 4(2): 179-182.

山階鳥類学雑誌

問い合わせ先: 財団法人 山階鳥類研究所. 〒270-1145 千葉県我孫子市高野山115

第36巻 1号(No. 111)

- 吉野知明・藤原一繪. 2004. 排泄物分析に基づくカラス類 *Corvus* spp. のアカメガシワ *Mallotus japonicus* 種子の利用と消化状況. *山階鳥類学雑誌* 36(1): 1-14.
- ロバート・デカンディド, デボラ・アレン, ルーベン・ヨゼフ. 2004. マレーシア, タンジントゥアン(東南アジアにおける春季に渡るハチクイ類の重要な観察地)におけるハチクイ類の渡り(英文). *山階鳥類学雑誌* 36(1): 15-21.
- 前田琢・井上祐治・小原徳応・荒木田直也・辻本恒徳. 2004. 保護放鳥したイヌワシ幼鳥の長距離移動(英文). *山階鳥類学雑誌* 36(1): 22-27.
- 小松吉蔵・佐藤弘・藤沢幹子・千葉晃. 2004. 標識調査の結果からみた新潟市におけるウグイスの渡りの様相(英文). *山階鳥類学雑誌* 36(1): 28-36.
- 紀宮清子・鹿野谷幸栄・安藤達彦・柿澤亮三. 2004. 赤坂御用地鳥類調査(1986年 9月~2001年12月). *山階鳥類学雑誌* 36(1): 37-71.
- 風間辰夫. 2004. 野生疾病鳥の収容と診断, 治療, 保護飼育, 野生復帰の方法. *山階鳥類学雑誌* 36(1): 72-82.
- 平野敏明. 2004. サシバは大きな獲物を巣へ運ぶか. *山階鳥類学雑誌* 36(1): 83-86.
- 堀本富宏. 2004. 北海道胆振地方におけるカササギの記録. *山階鳥類学雑誌* 36(1): 87-90.
- 外崎秀和・河井大輔・一北民郎. 2004. 北海道厚真町におけるマダラチュウヒの観察例. *山階鳥類学雑誌* 36(1): 91-92.
- 奴賀俊光・桑原和之・乃一哲久・羽賀秀樹・竹田伸一. 2004. 千葉県周辺海域における繁殖期のカムムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume* の観察記録(英文). *山階鳥類学雑誌* 36(1): 97-102.

第36巻 2号 (No. 112)

- 糟谷大河. 2005. 関東平野におけるムクドリ冬季時の配置と採食範囲-40年前との比較-. 山階鳥類学雑誌 36(2): 105-116.
- 北川珠樹. 2005. セイタカシギの一腹卵数. 山階鳥類学雑誌 36(2): 117-119.
- 高松淳・上原康彦・増田智仁・中澤篤志・池内克史・岡部篤行・林良博・井野靖子・岡孝夫・野村こう・天野卓・秋篠宮文仁. コンピュータビジョンの技術を用いた形態変異比較のための新たな骨計測法. 山階鳥類学雑誌 36(2): 120-128.
- 藤巻裕蔵. 2005. 北海道産エゾライチョウ *Bonasa bonasia* の大きさ. 山階鳥類学雑誌 36(2): 129-132.
- 上田恵介. 2005. 西表島のアカメガシワ *Mallotus japonicus* 果実を採食する鳥. 山階鳥類学雑誌 36(2): 133-135.
- 吉田彰・秋篠宮文仁・山岸哲・谷田一三. 2005. 象鳥(エビオルニス)の卵殻片半化石を産するマダガスカル南部フォーカップの海岸砂丘における地温の年間変動の調査. 山階鳥類学雑誌 36(2): 136-140.
- 桐原佳介. 2005. 2004年夏季に中海周辺に出現したメジロガモの記録. 山階鳥類学雑誌 36(2): 141-144.
- 金田大・山岸哲. 2005. クマタカのニワトリに対する捕食のビデオ解析(英文). 山階鳥類学雑誌 36(2): 145-149.
- 玉田克己・小谷友香. 2005. 北海道釧路支庁管内白糠町におけるコクマルガラスの観察記録. 山階鳥類学雑誌 36(2): 150-153.
- 中野武・宝来聡・吉田彰・秋篠宮文仁・山岸哲. 2005. 象鳥(ピオルニス)卵殻の切断作業. 山階鳥類学雑誌 36(2): 154-161.

第37巻 1号 (No. 113)

- 小島桂・小島治好. 2005. 北アルプス蝶ヶ岳の稜線でオバンギを観察. 山階鳥類学雑誌 37(1): 1-2.
- 石鍋慎也・杉森文夫・森貴久. 2005. 東京近郊に渡来するオナガガモ個体群の性比の偏り. 山階鳥類学雑誌 37(1): 3-10.
- 渡辺朝一・奥崎政美・根岸由紀子. 2005. オオヒシクイに採食されるイネ再生稈根元部分と、食べ残される上の部分の栄養成分. 山階鳥類学雑誌 37(1): 11-13.
- 渡部良樹・佐々木裕子・小林靖英. 2005. 日本におけるヒメウタイムシクイ *Hippolais caligata* の初記録. 山階鳥類学雑誌 37(1): 14-19.
- 山本義弘・柿沢亮三・山岸哲. 2005. 日本産絶滅危惧種鳥類のミトコンドリア・ゲノム・プロジェクト1: ウミスズメ *Ancient Murrelet* (*Synthliboramphus antiquus*) (英文). 山階鳥類学雑誌 37(1): 20-29.
- ジェラルド H・J・ド・クルーン, マリア・H・J・モマーズ. 2005. 北海道春国岱における亜種クイナの生物学的特性および繁殖生態(英文). 山階鳥類学雑誌 37(1): 30-42.
- ヤ・トゥン・ユ, コーネリアス・スウェネン. 2005. 越冬地におけるクロツラヘラサギ幼鳥への給餌(英文). 山階鳥類学雑誌 37(1): 43-44.
- 鈴木惟司・森岡弘之. 2005. カワセミの羽毛の微細構造と色彩. 山階鳥類学雑誌 37(1): 50-55.
- 浦野栄一郎・小林さやか・百瀬邦和. 2005. 学校が保有する鳥類標本の実態に関するアンケート調査. 山階鳥類学雑誌 37(1): 56-68.
- 樋口孝城・広川淳子. 2005. 北海道におけるオガワコマドリの記録. 山階鳥類学雑誌 37(1): 69-71.
- 神谷要・桐原佳介. 2005. 鳥取県米子市の弓ヶ浜で保護されたハジロミズナギドリ. 山階鳥類学雑誌 37(1): 72-74.
- 安田健. 2005. 江戸時代中期の日本列島の鳥-享保産物帳による-. 山階鳥類学雑誌 37(1): 75-109.

その他

- Awkerman, J.A., Fukuda, A., Higuchi, H. & Anderson, D.J. 2005. Foraging activity and submesoscale habitat use of Waved Albatrosses *Phaebastria irrorata* during chick-brooding period. *Marine Ecology Progress Series* 291: 289-300.
- Deguchi, T. & Watanuki, Y. 2005. Prefledging mass recession and timing of fledging in Rhinoceros Auklets *Cerorhinca monocerata*. *Ibis* 147: 217-220.
- 藤田泰宏・森茂晃. 2005. 島根県隠岐航路における海鳥の個体数と漁業資源との関係の検討. ホシザキグリーン財団研究報告 (8): 241-246.
- 藤田祐樹. 2005. 鳥とヒトの二足歩行. *化石研究会会誌* 38: 32-42.
- Fujita, M. 2004. Kinematic parameters of the walking of herons, ground-feeders, and waterfowl. *Comparative Biochemistry and Physiology, Part A* 139: 117-1243.
- 福田道雄・木村裕一・加藤七枝. 2005. カワウの小櫃川コロニーにおける巣内卵数. *日本鳥類標識協会誌* 18: 1-8.
- Hamao, S. & Saito, D. 2005. Extrapair fertilization in the Black-browed Reed Warbler (*Acrocephalus bistrigiceps*): effects on mating status and nesting cycle of cuckolded and cuckold males. *Auk* 122: 1086-1096.
- 樋口広芳・渡辺ユキ. 2005. 鳥類の渡りと鳥インフルエンザの伝播. *科学* 75: 43-47.
- 飯塚康雄・松永忠久・百瀬浩・佐伯緑・松江正彦. 2005. 建設事業における希少猛禽類への影響予測評価システム—国総研版騒音・振動シミュレーター—. *騒音制御* 29(2): 123-129.
- 桐生尊義. 2005. なぜハクセキレイはセグロセキレイの生息域に侵入できたのか? *伊那谷自然史論集* 6: 121-129.
- 小荷田行男. 2005. 釧路湿原釧路川自然堤防の鳥類相—2002年~2004年—. *標茶町郷土間報告* (17):97-102.
- 小荷田行男・中村清. 2005. 埼玉県何部深作川遊水地の鳥類—1999~2004—. *さいたま市博物館研究紀要* (4): 1-16.
- 百瀬浩. 2005. 猛禽類の生息を指標とした農村・里山景観と生物多様性の保全. *水環境学会誌* 28: 163-166.
- 百瀬浩・植田睦之・藤原宣夫・内山拓也・石坂健彦・森崎耕一・松江正彦. 2005. サシバの営巣場所数に影響する環境要因. *ランドスケープ研究* 68(5): 555-558.
- Niizuma, Y., Takagi, M., Senda, M., Chochi, M. & Watanuki, Y. 2005. Incubation capacity limits maximum clutch size in Black-tailed Gulls *Larus crassirostris*. *Journal of Avian Biology* 36: 421-427.
- 大長光純・池田浩一・猪上信義・吉田耕二郎. 2005. ヒヨドリによるユズリハとオガタマノキの食害. *森林防疫* 54: 75-76
- 佐藤重穂・酒井敦. 2005. 暖温帯人工林における果実食鳥類群集の季節変動と先駆性樹種の果実熟期の対応関係. *森林応用研究* 14: 35-40.
- 島津秀康・柴田里程. 2005. 局所回帰による時系列の分解から明らかになった野鳥羽数の環境要因変化との関連性. *日本統計学会誌* 34(2): 187-207.
- Takenaka, M., Niizuma, Y. & Watanuki, Y. 2005. Resource allocation in fledglings of the Rhinoceros Auklet under different feeding conditions: an experiment manipulating meal size and frequency. *Canadian Journal of Zoology* 83: 1476-1485.
- Tanaka, K.D. & Ueda, K. 2005. Horsfield's Hawk-cuckoo nestlings simulate multiple gapes for begging. *Science* 308: 653.
- Tanaka, K.D., Morimoto, G. & Ueda, K. 2005. Yellow wing-patch of a nestling Horsfield's Hawk Cuckoo *Cuculus fugax* induces miscognition by hosts: mimicking a gape? *J. Avian Biol.* 36: 461-464
- 田中正晴. 2005. 高知平野におけるハクセキレイの繁殖事例. *四国自然史科学研究* (2): 63.
- 鶴川健也・岡崎樹里・加藤和弘・百瀬浩・藤原宣夫・松江正彦. 2005. 衛星画像より作成した土地被覆分類図を用いた鳥類分布モデルの構築. *ランドスケープ研究* 68(5): 593-596.

- Ura, T. 2005. Sexual dimorphism of Latham's snipe (*Gallinago hardwickii*). *Emu* 105: 259-262.
- Yamaguchi, N. 2005. Cheek-patch coloration varies greatly within a subspecies of the Varied Tit *Parus varius*. *Ibis* 147: 836-840.
- Yamaguchi, N. & Higuchi, H. 2005. Extremely low nesting success and characteristics of life history traits in an insular population of *Parus varius namiyei*. *Wilson Bulletin* 117: 189-193.
- Yamaura, Y., Katoh, K., Fujita, G. & Higuchi, H. 2005. The effect of landscape contexts on wintering bird communities in rural Japan. *Forest Ecology and Management* 216: 187-200.
- 山内健生・江草真治. 2005. 広島県の中型哺乳類および鳥類に寄生するノミ類. *昆虫(ニューシリーズ)* 8: 37-42